

よい豚のもとをたどればよい種豚

疾病予防・管理できていますか？

## 国産純粋種豚改良協議会だより



第9号 2019.6.5発行

2019年5月1日から、新天皇の即位とともに元号が『平成』から『令和』に新しくなりました。令和元年が、国産純粋種豚改良協議会の活動の記念すべき年になるよう、事務局一同精一杯お手伝いさせていただきます。今年度もよろしくお願いいたします。

### 新会員の紹介です!!

2019年4月、新たに生産者団体1団体と2つの都道府県が正式に会員として入会して頂ける事になりました。ご紹介いたします。

#### ・ 群馬県養豚協会 種豚生産者部会 様

群馬県のリーダーを中心とした種豚生産と種豚に対する研究熱心な生産者の部会です。群馬県は我が国の養豚産業で常にトップ10に入る、養豚の盛んな県です。

#### ・ 千葉県 農林水産部 畜産課 様(千葉県畜産総合研究センター 様)

こちらでも常に我が国の養豚産業でトップ3に入る非常に養豚の盛んな県です。最近は何の豚とも言われる中ヨークシャーの飼養にも力を入れています。

#### ・ 静岡県畜産技術研究所中小家畜研究センター 様

金華豚などを使った、非常に特色ある豚肉生産を幅広く行っている県です。当協議会の桑原監事のお膝元であり、今後ますます強固な協力体制をお願いいたします。

新会員の皆様、どうぞ国産純粋種豚改良協議会へ**新たな気合い**をよろしくお願いいたします!!

※なお、設立当初からの会員である、株式会社 ぜんちく那須山麓牧場 様ですが、会社の御都合でこの度退会されることになりました。今まで協議会運営に御協力を頂き、ありがとうございました。



国産純粋種豚改良協議会の現在の会員数は、生産者会員が23名、団体及び試験研究機関会員が当協会含め14名です。オブザーバー会員は5名となっております。正会員への変更手続き、新規入会をお待ちしています!!

～お詫び・国産純粋種豚改良協議会専用データ管理システム 改修について～

会員・オブザーバーの皆様には昨年末にお願いをしまして、繁殖及び産肉データについて、協議会専用データ管理システムに入力等していただいたところです。

大変申し訳ありません、遺伝的能力評価を抽出するプログラムに一部不具合等が有ることが判明し、現在その改修及び構築の作業を行っております。

こちらの作業が終わるまで、協議会内の遺伝的能力評価及びランキングの公表ができない状態となっており、皆様には大変なご迷惑をおかけしております。

只今、急ピッチで作業を進めております。もうしばらくお時間を頂きたい、何卒ご了承のほどよろしくお願いいたします。

**中国及びベトナム・北朝鮮に拡散した  
アフリカ豚コレラ及び  
岐阜県及び愛知県で続発している  
豚コレラの防疫強化を！！**

ASF は非常に厄介な病気で、国内への侵入は全力を挙げて阻止する  
必要があります。また、豚コレラの拡散防止のため衛生対策を徹底しましょう

ASF ウイルスは中国及びベトナム・北朝鮮と拡散しており、いつ日本に侵入してもおかしくない  
状況です。国に対し、水際防疫の強化を要請していますが、国内養豚農場では防疫レベルを最高  
レベルに引き上げ、防疫強化をすぐに実施し国内への侵入を全力で阻止しましょう。

また、岐阜県及び愛知県で続発している豚コレラについても養豚経営の存続にも関わる疾病で  
す。これ以上拡散しないよう農場の衛生対策を今一度確認いただき侵入防止に努めましょう。



**国産純粋種豚改良協議会 2019 年度総会について**

今年度の総会ですが、秋口以降の開催を予定しております。日程及び詳細が確定しましたら改めて  
ご連絡させていただきます。沢山の会員の皆様のご出席をお待ちしております。



お知らせ

## 第5回 Fatty Pig 国際研究集会が沖縄県で開催されます。

世界の脂肪質豚(Fatty Pig)の研究・利用に関する学術交流会「Fatty Pig国際研究集会」が2019年11月27日～29日まで沖縄県那覇市で開催されます。旨い脂肪、脂肪は白いお肉、絶妙な脂肪交雑と脂肪の質にとことんこだわった豚肉生産を目指す我が協会にとっても非常に興味深い学会です。案内チラシを別紙つけさせて頂きますので是非、ご確認ください。



### 事務局からのお知らせ

「国産純粋種豚改良協議会」は平成28年3月31日、オールジャパンでの種豚改良を目指して発足しました。只今、会員絶賛募集中です!!

#### ★令和元年度 種豚導入補助事業 ご案内

事務局である一般社団法人 日本養豚協会では令和元年度も種豚導入補助事業の事業実施主体となりました。国産純粋種豚の能力底上げが目標の事業です。平成30年度も同様の事業があり、会員及びオブザーバーの方で事業参加されて、積極的に改良のための導入を行って頂きました。本事業は単年度事業ですが、平成26年度から続いている事業で、生産者間血縁構築にも有効に活用されています。せっかくの補助事業です。協議会の目標達成の為に是非、有効活用しましょう。お問い合わせは事務局の湯浅までお願いします。

#### ★協議会内部での種豚交流について

改良のスピードアップの、ひとつの指標となる遺伝的能力評価精度を向上を図るためには、協議会員間での血縁構築が重要となってきます。是非、会員間で種豚交流を実施しましょう。御連絡いただければ会員にお知らせいたしますので事務局までお願いします。

#### ★会員、絶賛募集中!!

より多くの種豚生産者に参加していただくことで、国産純粋種豚改良協議会の活動が盛り上がり、かつ、データがたくさん集まり、改良のスピードアップも狙えます。是非、入会をよろしく願いいたします。協議会についてのお問い合わせもお待ちしています。

#### ★産肉検定について

産肉形質改良のための素材となるデータ測定についても、積極的に実施をお願いしたいところですが測定機器が無いなどのお悩みについて、協議会一丸となって取り組んで行きたいと思っております。是非、事務局へお問い合わせ下さい。全体で対策を検討したいと思います。

#### ★国産純粋種豚改良協議会だより について

普段なかなか集まることのできない、会員及びオブザーバーの交流の場としても是非ご活用ください。掲載希望記事や掲載希望コーナーなどの御提案をお待ちしています。事務局までどんどんお寄せ下さい。また、改良に関する質問なども受け付けております。

(例:会員及びオブザーバーの紹介コーナー、会員及びオブザーバーに関するトピックコーナーなど)

## ・・・事務局こぼれ話

### 便その1

皆様にとって当たり前なことで大変恐縮ですが、養豚の生産現場において、飼養管理は最重要項目であります。特に豚の様子を目視で確認することで、疾病や発情等を見分け豚の体調をコントロールすることが出来ます。それによって事故率の低下や受胎率の向上等、養豚経営に大きな影響を与えています。

今回、便について少し着目してみました。例えば雄の場合、放尿時のキレが悪いように見えたら尿溜まりの可能性が高く、精液に雑菌が多く受胎率も低下します。雌では、放尿水が上に弧を描くように出ている場合は、生殖器異常の確率が高いことから母豚としての使用はしません。他にも、豚流行性下痢（PED）の糞の臭いは、豚舎に入った瞬間に匂う程のキツイ臭いがします。この様に、「便」だけでも豚の管理に生かせるポイントがあります。

人間ではどうでしょうか。人間でも血便の有無があり、他にも小便のキレや色、大便の形状や色により体の状態を逸早く見つけることが出来ることがあります。現在、病院では白い便器を推奨しています。なぜなら、白いキャンパスにより便の色を分かりやすくし、便によるヘルスチェックの推奨をしているとのことです。一昔前は汚れが目立たないように、アイボリーや黒、男女で水色と桃色に分けるなどの使用が多く見られましたが、現在の多くは白色になっております。（某建築会社調べ）

豚の管理、そして日々の自分自身の健康管理に欠かせないのが便だと思います。便からのお便りをしっかり読んで頂きたいと思う次第です。（筆：便潜血検査で陽性の事務局員。皆様しっかり健康管理を!!）



南インドや東アジアで設置されていた豚便所。人間の便を家畜の餌として与えた時代がありました。（現在も一部に残っているようです）男性がする場合は、自身の生殖器を持ってすることが重要です。豚が食べてしまうので注意しましょう。

次回の取組テーマは便紙（検討中）

消毒の重要性と便紙からみる大腸菌の恐怖!?

国産純粋種豚改良協議会 事務局 一般社団法人 日本養豚協会 担当:小磯・湯浅・神長

〒1510053 東京都渋谷区代々木 2-27-15 高栄ビル 2 階

電話:03-3370-5473 FAX:03-3370-7937 E-Mail:n.yuasa@pig-pins.com



# 5th Fatty Pig

Science & Utilization  
International Conference  
2019, Okinawa, Japan

## 第5回 Fatty Pig 国際研究集会

開催日： 2019年11月27～29日(29日はエクスカージョン)

開催場所： 沖縄県男女共同参画センター【ているる】  
(沖縄県那覇市)

世界の脂肪質ブタ(Fatty Pig)  
研究・利用に関する学術交流会



マンガリツツア  
(ハンガリー)



イベリコ (スペイン)



アグー  
(沖縄)

主催： 世界在来豚研究会 会長 眞鍋 昇

連絡先： [5FP@naro.affrc.go.jp](mailto:5FP@naro.affrc.go.jp) (菊地 和弘まで)

ホームページ(英語サイト): <https://confit.atlas.jp/fattypig5?lang=en>